

河川伝統技術名称：

## 「蛇抜け」

分類：民話・言い伝え 年代：19世紀代

河川名：木曾川支川与川等

都道府県／地先：長野県／南木曾町

### 「蛇抜け」

天保15年に尾張様が下山の中野沢というところでね。

御用材を伐ってどえらい蛇抜け（水害による土砂崩れ）がしたそうさ。

そいで人夫がもうべったり（沢山）流されたって。

その供養のために与川渡に地蔵さんが建ってたわけよね。

（「民族調査報告書 長野県木曾郡南木曾町与川」、p72、和洋女子大学民族研究会・1972）

資料：「信濃の伝説にのこる山の災害：笹本正治」1999.SPRING 季刊 河川レビュー

（概要）この伝説は事実に基づく事が確認されている。このような伝説は荒唐無稽なものではなく、歴史的事実を下敷きにする事が多く、社会的効果としては、薄れゆく災害の事実を身近に想起させる点にある。災害は忘れた頃にやってくる。災害の事実を忘れず、事実を伝える事が防災の第一歩である。親と子、地域のコミュニケーションが稀薄な時代であるからこそ、早急に災害に関する伝説を収集し、それを通じて災害に対処することが望まれる。

資料：「信濃の伝説にのこる山の災害：笹本正治」1999.SPRING 季刊 河川レビュー No.105